

長岡税務署長賞

十円の行方

長岡市立秋葉中学校

三年 諏佐 希歩

私はよく百円ショップで買い物をする。その時にいつも気になってるのが百十円の十円の部分だ。いわゆる「消費税」というやつ。

正直、商品の値段よりも多くのお金を払わなければいけないのであまり良い印象は持っていなかった。この十円はいったいどこに行くのだろうと日々、疑問に思っていた。

ある日ネットを見てみると、とある記事を見つけた。それは消費税の使われ方について書かれたものだった。今の私にピッタリだと思い読んでみることにした。その記事には消費税は主に、年金・医療費・介護・少子化対策に使われると書いてあった。私は驚いた。なぜなら税金は「国に払っている」という感覚が大きかったのだ、それが医療や老人、子育て保障など生活に困っている人たちのために使われていると知ったからだ。具体的には、健康保険や国民健康保険を通じて、医療サービスの費用を一部負担する医療保険制度、高齢者や障害者に対して必要な介護サービスを提供する介護保険制度、育児休業給付金や保育所の運営費、子ども手当などが含

まれる育児支援など、様々な場面で消費税が使われていることが分かった。ここで私はこれらの支援が実際に国民にどのような役立っているのかという疑問を持ち、この疑問を解決すべく母に聞いてみることにした。

「お母さん、私達が払っている消費税はどんな所で役に立っているの？」と聞く。

「そうねえ。あなたの妹が生まれてきたときに育児休暇をとって出産後の大変な時期に家でゆつくりと赤ちゃんのお世話をすることができたわ。お母さんが仕事を休んでも育児休業給付金をもらっていたから家計が大きく困ることもなかったわね。しばらくして、保育所に妹を通わせて今度は仕事をしながら妹の成長を見守ることができるようになったのよ。はじめは慣れない環境で心配だったけど、施設もきれいで先生たちも優しく安心してたわ。そのあと、妹も大きくなって小学校に入学したでしょ。その時にかかる学校用品の費用や今習っている習い事も児童手当を使って賄う事ができたから家計にとっても大きな助けになったわ。」と母は言った。なんと、私が払っていた十円は自分の家庭の支えにもなっていたのだ。

以上のことを通して消費税は子育てをする人や高齢者等の困っている人の役に立っていることが分かった。それに、気になっていたので私の十円の行方は、様々な場面で人々の生活をサポートするために、すがたを変えて潜んでいたのだと知った。これからは買い物をするときに、この十円が誰かの助けになるのだと思い温かい気持ちで納税していきたい。